

第6回 嘉麻市行政経営推進審議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和7年度 第6回嘉麻市行政経営推進審議会
2. 開催日時 令和7年10月20日（月）13：30～15：06
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎5階 委員会室2
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
6. 出席者
- （1）委員
美谷薰委員、林田史朗委員、大野繁治委員、三船國弘委員、大森成順委員、長野美津子委員、永富靖人委員、野見山桂子委員
＊欠席委員 藤井正博委員、頼金豊子委員、大里理子委員、松田クニ子委員
- （2）執行機関
財政課長 赤坂晋、財政課長補佐 田中ひふみ、行政改革推進係長 渡辺亮、
行政改革推進係 鹿毛一樹
7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人
8. 議題及び審議の内容
- 【議題】
- （1）前回審議会の振り返り
- （2）第5次行政改革大綱（案）及び第5次行政改革実施計画（案）について（審議）
- （3）その他
- 【審議の内容】
- （1）前回審議会の振り返り
前回の審議会の内容において、第5次行政改革大綱（案）及び実施計画（案）の概要説明と意見整理について報告を行った。（事務局）
- （2）第5次行政改革大綱（案）及び第5次行政改革実施計画（案）について（審議）
第5次行政改革大綱（案）及び実施計画（案）の審議方法について説明を行った。
(事務局)
前回の説明を受け、審議を行い、次のような質問及び意見が出た。（委員）

【委員】合併直後から第4次までの大綱を策定し、各担当課で行政改革に取り組んできたが、近年の急激な財政悪化の主因が公共施設建設に伴う起債償還であるなら、市長の施策によって大きく左右される。そうであれば、大綱を策定する意義が薄れるのではないか。

【事務局】行政改革は、市職員や市民生活に直接関わる取組を計画的に実施するものであり、基本方針として大綱を策定することは必要である。市全体で改革を推進するためにも、大綱の策定は不可欠と考える。

【委員】実施計画に計上されている効果額は市長の決定によるものか。

【事務局】金額および内容は、市長が本部長を務める行政経営推進本部会議において決定し、その結果を審議会資料として提出している。

【委員】この計画を実施しても収支均衡が図れないとのことだが、5年後の財源不足見込みはどの程度か。

【事務局】一般会計では令和12年度時点で約9億4千万円の財源不足が見込まれ、効果額4億円との差し引きで約5億4千万円の不足となる。

【委員】大綱では財政悪化の要因を社会情勢の変化などと記載しているが、要因分析として十分ではない。より具体的な事実認識を示すべきである。

【事務局】「公共施設等の老朽化に伴う投資的経費の増加」として記載しているが、今後さらに具体的な分析結果を追記することを検討したい。

【委員】財源不足が6億円程度のことだが、予算規模約200億円のうち3%に相当する。これを確保できていないのは計画が甘いといわざるを得ない。

【委員】歳入確保や歳出削減だけでなく、行政の役割自体を再考し、本質的改革を進める必要がある。

【委員】計画の実効性を確保する仕組みはどのように考えているか。

【事務局】現時点でも検討中だが、進捗管理の徹底と主管課へのヒアリングを強化し、必要に応じて審議会での意見聴取も行う予定である。ただし、業務量増加への対応や専任体制の構築が課題である。

【委員】計画効果額を30億5千万円とする一方で、財源不足は約50億円に上る。実現可能性は低いように思う。市職員の危機意識の不足も課題であり、抜本的な改革が必要である。

【会長】予算編成方針の策定状況を伺いたい。

【事務局】令和8年度当初予算では経費の5%削減、事務事業のゼロベース見直しを方針としている。幹部会等で周知を徹底している。

【委員】職員削減は必要だが、同時に職員の健康維持や働きやすい職場環境の整備も重要である。

【委員】不必要に見える施策にも一定の価値がある。取組状況を数値化し、スリム化と明確化を進めるべきである。

【委員】市内居住職員の割合を把握し、地域への当事者意識向上を促すことも検討すべきである。

【会長】職員確保が困難な現状を踏まえれば、市内居住の義務化は難しいが、動機づけとなる制度の検討は有意義である。

【委員】「効果見込額に数値目標なし」との記載は違和感がある。年度目標は可能な限り数値にて設定することであり、建付けを整理すべきである。効果見込額は累計での計上か。

【事務局】効果見込額は単年度ごとの見込みであり、令和6年度との比較で算出している。

【委員】取組項目 2 3 稲築庁舎跡地の売却状況について。

【事務局】地域整備本部会議で検討中であり、公募による売却を予定している。広報誌やホームページでの周知も検討中である。

【委員】遊休地売却の進捗が遅いように感じる。民間活力の導入など柔軟な手法を検討すべきである。

【委員】取組項目 1 財政運営においては、収支バランスの改善や基金の適正活用を明記し、「身の丈にあった運営」を徹底することが非常に重要である。

【委員】抜本的改革やゼロベース見直しは全実施計画に反映させる必要がある。市長による政治的判断も求められる。

【会長】取組項目 1 4 など過去からの計画の未進捗項目については削除も検討すべきである。

【委員】水道管老朽化への対応状況はどうか。

【事務局】管路更新計画に基づき、年次的に改修を実施している。突発的破損箇所は随時補修している。

【会長】本日の審議では、実施計画（案）よりも大綱（案）の姿勢に対する意見が多く寄せられた。修正の可否は別として、答申に反映させるようお願いする。

（3）その他

特になし。

9.配布資料

- ・令和 7 年度第 6 回嘉麻市行政経営推進審議会次第
- ・第 5 次行政改革大綱（案）及び第 5 次行政改革実施計画（案）